

常なる磐

つねなる いわ season II
令和3年12月10日(金)
その3

◇ 研究授業よもやまばなし

12月1日(水)、6年生の浅野教諭、2年生の青木教諭の研究授業が行われた。

※「指導員訪問」

年に数度行う研究授業。研究授業を行う教師は、なかなか大変だ。通常の業務（担当する学級の授業準備・児童の学習評価・担任業務・学校の担当業務・市内外の仕事など）に加え、研究授業のための準備が必要となる。確かに大変だが、ここにつき込んだ労力は、指導技術向上に直結していく。己を鍛える場なのだ。

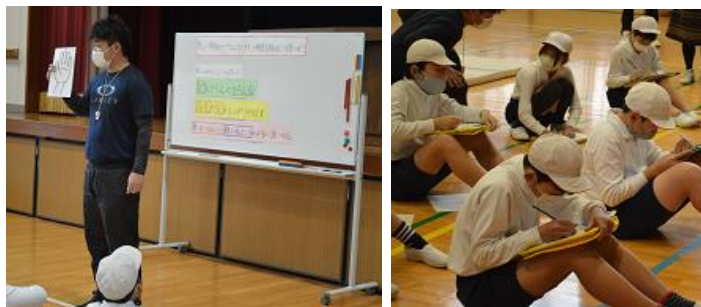
まず、授業者が行うのは授業構想と計画。どんな授業を行うかの構想&計画だ。今回の場合は「体育科」。日程は年度当初に決まっているので、学習単元はすぐに見当がつく。6年生も2年生も「マット運動」である。同じマット運動ではあるが、発達段階の違いにより、それぞれの学習のねらいや学習の価値は異なる。授業者はそれらを捉えつつ、**①子供の実態に合わせた単元学習後の着陸地点**を見据える。単元の学習時、あるいは単元学習後の**②「目指す児童像」**である。

さらに、**③目指す児童像に迫るための「手だて」**を考え、**④単元の計画**を立案する。6年生のマット運動ならば、単元8時間の授業の大まかな計画だ。そのうち、研究授業として取り上げるのは1時間の授業。この**⑤1時間の授業をどう行っていくか**という細かな計画（目標・展開・評価）を立て、紙面に落とししていく。加えて、体育の場合はホワイトボード、教室での授業ならば黒板の計画を立てる。

学習指導案 A4サイズ 3ページ

<p>第6学年1組 体育科学習指導案 令和3年12月1日(水)</p> <p>1 単元名 常東オリンピック2021マット (1) 目標 ① 基本的な技を安定して行い、習得した技を練習の仕方での組み合わせを工夫し、表現できるように取り組むこと。 ② 運動にすんで取り敢えずととも、前後や左右の方向に動き出し、姿勢を安定させることができるようになること。 (2) 構想 本学級は、男子5名、女子3名、計8名で構成されている。6年生のマット運動は、2年生のマット運動と異なり、より高度な技が求められる。また、2年生のマット運動は、主に基礎的な技の習得が中心であったが、6年生では、より高度な技の習得が求められる。そのため、本学級の児童は、基礎的な技の習得だけでなく、より高度な技の習得も求められる。本学級の児童は、基礎的な技の習得だけでなく、より高度な技の習得も求められる。そのため、本学級の児童は、基礎的な技の習得だけでなく、より高度な技の習得も求められる。</p>	<p>(3) 計画</p> <p>2 本時の学習 (1) 目標</p> <p>3 学習活動をする。 ・しっかりと姿勢を整えよう。 ・しっかりと姿勢を整えよう。 ・しっかりと姿勢を整えよう。</p> <p>4 本時の学習 (1) 目標</p> <p>5 本時の学習 (1) 目標</p> <p>6 本時の学習 (1) 目標</p> <p>7 本時の学習 (1) 目標</p> <p>8 本時の学習 (1) 目標</p> <p>9 本時の学習 (1) 目標</p> <p>10 本時の学習 (1) 目標</p>	<p>教師の活動</p> <p>児童の活動</p> <p>評価</p> <p>① チームで話し合ったことを生かして練習し、技の精度を高めることができた。(児童の自主性) ② 技の精度を高めるために練習を見て考えたり、チームで話し合ったことが生かされたことがあった。(児童の自主性)</p>
---	---	--

①から⑤までの授業構想・計画を紙面に落としたのが「学習指導案」とよばれる。文字のごとく、学習指導にあたるまでの案（計画）である。ここに至るまでの準備もあるが、授業者は授業日の10ほど前には学習指導案を書き上げる。



研究授業までに行う準備もある。視覚支援のための教具、今回で言えば授業者が手にしているヒントカードなど。さらに、児童がタブレットに記録した授業記録の点検やまとめなどだ。

授業者ばかりが準備するわけではない。個別のアドバイスに加え、学習指導案作成までに授業研究部の教員が集まって意見交換するなど、授業者に協力する。

当然、当日までに他の教員は学習指導案を読み込み、各自で授業当日に備える。授業者が事後分析できるよう授業はビデオ撮影する他、教師や児童の発言や動きを時系列にまとめる授業記録を取るなど、学校態勢で授業者を支えるのだ。

当日は、岡崎市の教科指導員（今回の場合は保健体育科指導員）を招いて授業を見ていただく。児童の下校後、全教員が一堂に会して1時間の授業についての協議会を行い、締めくくりとして学習指導員からご講評をいただくのだ。



岡崎市の教科指導員は32名いるが、この仕事の専門職ではない。通常は学校の勤務である。中には、学年主任や学級担任をされている方もみえる。それでありながら、約一週間前に届いた学習指導案を読み込み、この日のために備える。

協議会では見事な切り口で授業を分析し、助言や代案を提示する。目から鱗のオンパレードである。今回も然り。A中学校のH指導員（教諭）のご指導で、授業者だけでなく本校全教員の指導にかかわるレベルがまた一段階上がった。

こうした授業研究・協議会・指導員制度が岡崎の確かな教育を支えている。